

らこつてを配布しています!

長岡技術科学大学、まちの駅よいた、道の駅良寛の里わしま、川口きずな館、道の駅とちお、寺泊きんばちの湯、まちなかキャンパス ほか市内公共施設

和島 和島観光協会(山田さん)おススメ!! 和島が誇る名庭園「住雲園」で竹林整備



竹取物語 第3弾 緑美しい竹林の中で和島を感じよう!

「住雲園」は竹が天高く青々と茂る美しい庭園です。一方、竹は農作業に使用するために昔から重要な財産でした。そこで和島地域では「竹」をキーワードに春は筍掘り、夏は竹灯籠...と年間を通して和島のファンになってもらう企画「越後長岡わしま竹取物語」を行っています。今回はみんなで竹林整備を行います。一緒に汗を流しながら和島を肌で感じよう!



日時 7月13日(土) 9:00~12:00 会場 住雲園 参加費 無料

【主催・お問い合わせ先】和島観光協会事務局(和島支所産業建設課内) TEL:0258-74-3114

長岡 Area-Zero【エリアゼロ】(樋口さん)おススメ!! Area-Zero 第16回公演「きゅうりの花」



長岡の本格派、市民演劇団による公演。過疎化が進む地方の青年会の町おこしストーリー!?

バンドブームやダンス、夢中になれることはたくさんあるけど、演劇が一番面白い!...そんな仲間が集まってやる本気の演劇です。学生は100円!皆様のご来場をお待ちしています。
【あらすじ】過疎化が進む地方の青年会が町おこしを考えている。発展していく隣町に負けまいとあれこれ考えるが、農業、嫁不足と問題は山積みでなかなかうまくいかない。物語は滑稽に進んでいくが事態はやがて...

日時 7月13日(土)14:00~、19:00~、14日(日)14:00~※各回30分前開場 会場 長岡リリックホール 1階 第一スタジオ

入場料 一般1000円、学生100円※全席自由、当日200円増 定員 各公演100名 プレイガイド 長岡リリックホール TEL:0258-29-7715

【主催・お問い合わせ先】090-2665-7307(樋口伸介) Eメール:area_zero1919@yahoo.co.jp

中之島 NPO法人キズナの森おススメ!! キズナ祭り



水害から学んだ地域の絆を、今こどもに伝えよう。

平成16年7月13日に発生した水害。今では当時を知らない子供たちも増え、私たち大人世代も年月が過ぎるにつれて記憶から薄れてきていると感じる時があります。この講演会では災害時にいち早く現地に向かい、復旧支援を行う川上哲也さん(NPO法人岐阜県災害ボランティアコーディネーター協議会)を講師に迎え、地域でできる防災事例の紹介や災害時の心構えなどを学びます。※公演終了後、バルーンアートやバンド演奏などもあります。

日時 7月14日(日) 13:00~ 会場 中之島公民館 周辺 参加費 無料

【主催・お問い合わせ先】事務局:原田通機・情報サービス TEL:0258-66-0321



栃尾 栃尾観光協会(佐藤さん)おススメ!! うま市・うま市芸能まつり



うまの販売に許可が必要!? 越後三大うま市と芸能まつり。

昔、馬の販売には許可が必要で販売ができるのは年に数回でした。人々は馬の売買が成立すると契約書の代わりに酒を飲み交わしました。この名残りが現在の「うま市」です。24日は、上杉謙信が創建した秋葉神社の火渡りも開催され、100店以上の露店でにぎわいます。栃尾市民会館では、栃尾甚句や守門小唄などの民謡・芸能も披露しますので、ぜひ遊びに来てください。

日時 7月23日(火)・24日(水) 19:00~ 会場 うま市:谷内通り商店街、うま市芸能まつり:栃尾市民会館

入場料 うま市芸能まつり:無料 【主催・お問い合わせ先】栃尾観光協会 TEL:0258-51-1195



編集後記 今回取材した「地域を良く知ろう会」さんは、寺泊の農村地域にある宝をもっと色んな人に知ってほしいと、地域で活動している団体や農産物の生産者を丹念に取材し、さらにその宝を活かすために各団体と連携し、活性化策を考えています。地域で色んな人がそれぞれの役割を持って連携していくことで、地域の魅力を高められる事例だったのではないのでしょうか。

らこつマ FREE 2013.7.1 (vol.16)

【発行】ながおか市民協働センター
〒940-8501 長岡市大手通1丁目4番地10
シティホールプラザアオーレ長岡 西棟3F ながおか市民協働センター
Tel.0258-39-2020 Fax.0258-39-2900
Mail. kyodo-c@ao-re.jp URL. http://nkyod.org



今月の活動紹介 地域を良く知ろう会 ~寺泊・農村地域 地域の宝を見つけ・磨く~



今の特集は、寺泊・農村地域で活動する「地域を良く知ろう会」です。地区内の様々な団体と連携し、行う活動とその想いに迫ります。

ながおか市民協働センター
マスコットキャラクター
たまりん

地域を良く知ろう会のメンバー
伊藤文彌さん、宮田康男さん



寺泊の名所万本桜を飾るため、今年手作りしたポンボリ



手作りのポンボリを眺めながらの観覧会



田んぼの減反がきっかけとなり
はじまったブドウ農園



菜種油の採取を行っている菜の花畑



農村の所得向上を目指した。
いちじくの栽培の様子

寺泊地域の農村部・大河津地区をフィールドに、地域に埋もれている地域資源を地域の人々で共有し、活用していくことを目的に活動しています。これまで、「地場産活動マップ」「花と景観マップ」など、地域資源を調べてマップという形でまとめています。これらの活動によって、地区の人たちも自分の集落以外でどんな資源や活動があるのかを知ることができ、また外部の人たちがマップを見て訪れるようにもなっています。寺泊というと、海のイメージが強いですが、寺泊農村地域の情報をより多くの方々に知ってほしいと思います。



多くの花いっぱい活動が展開されている



地区内の人たちも改めて認識できた「地域のたから」

●寺泊農村地域・地域資源マップ

まず手掛けたのが地域資源をまとめたマップです。「花と景観マップ」では、地域の皆さんが大切に守ってきた桜並木やアジサイなど19か所もの花のスポットを掲載しています。「地場産活動マップ」では、この地域で営まれているブドウ農園や直売所など、農業を中心とした21か所もの地場産業を紹介しています。

この地域では特に減反政策が始まってから、新しい作物を導入して産業へと発展させてきました。マップ作成を通し

て、地区内の人たちも「自分達の地区にこんな場所があるんだ」という発見がありました。また、地区外からもマップを持って訪れてくれる人がいらっやうです。



マップに掲載されている入軽井のブドウ農園



花と景観マップ



地場産活動マップ

【配布場所】
寺泊観光協会(長岡市寺泊大町9353-527)
TEL:0258-75-3363

「地域を良く知ろう会」と協働して活動を進める皆さん



桜並木と景観を守る会
会長 小田 二三男さん

歴史ある桜並木を守っていききたい!

国道116号線から、寺泊の浜へ抜ける寺泊の玄関口にあるこの桜並木は、戦前に在郷軍人の人たちが植えたのが始まりでした。戦後に伐採されて売られてしまいましたが、平成に入って、「この桜並木を復活させよう」と、沿線の方々と協力して4人で植樹をしました。平成23年からは私たちの住民団体で管理を担っています。若い人たちも草刈りなど協力してくれるからこそ守られている桜並木です。これからも多くの人たちに見てもらい、大事にしてもらえればと思います。



敦ヶ曾根から竹森にかけて続く桜並木

CCF(コミュニティカルチャーフレンズ)
代表 佐藤 潔さん



美しい環境で地区外の人を迎えたい

私たちの団体は、地域の環境美化・整備に関する活動を行っています。桜並木の下草刈りやアジサイの手入れ、地区内の各所に花のプランターを設置などを行っています。大河津地区は、長岡から観光寺泊に抜ける玄関口なので、きちんと草を刈りゴミのポイ捨てを防ぎ、美しい環境で地区外の人を迎えたいと思っています。今後も「地域を良く知ろう会」と協力し行っていききたいと思っています。



竹森のアジサイ

集落特有のつながりの強さを強みに。

長岡市寺泊支所地域振興課 係長 八子 仁さん

寺泊の農村部の地域活動は市町村合併した頃から様々な活動が芽を出してきました。農村部の気質として地域のことはできるだけ自分でやるという精神があるように感じます。それは農業集落特有の

人のつながりの強さが、そうさせているのだと思います。「地域を良く知ろう会」の皆さんが関わっている桜並木の管理は、市としても必要な道具の貸出などでできる限りのお手伝いをさせてもらっています。

ちょこっと助成金情報 vol.3

締切間近の助成金情報・表彰制度をお知らせ。
助成元の想いをつかんだ申請をしよう!



市民がつくる新潟の未来!
「がとぎととぐとと賞」

任意団体でもOKだよ!

募集対象

新潟県内に活動拠点を持つ、市民が主体となって運営している法人または任意団体およびその活動。

賞の種類

- がと賞(1本)副賞10万円……スケールの大きい、夢がふくらむ活動
- ぎと賞(1本)副賞10万円……強いこだわりを感じる、独創的な活動
- ぐと賞(1本)副賞10万円……社会の求めに応えた、共感が集まる活動

※「がと」…主に中越～下越地方で使われる方言で、「すごい」「大きい」「勢いがいい」の意。「ぎと」…主に上越地方で使われる方言で、「頑固な」「こだわる」の意。「ぐと」…標準語。感動した時などに言う「ぐととく」の「ぐと」。

募集要件

エントリーシートをホームページからダウンロードし協会へ提出。
※応募の際の自薦・他薦は問わない

応募締切

平成25年7月31日(水) 必着

問合せ・書類送付先窓口

NPO法人 新潟NPO協会
TEL:025-280-8750
<http://www.nan-web.org/>

今年度、新たに発足したこの表彰制度に
かける想いをお伺いしました。



NPO法人 新潟NPO協会
富澤 佳恵さん

この制度が生まれた
背景やきっかけを教えてください。

県内のNPO法人は、毎年30～40団体のペースで増加しており、2013年3月末時点で600を超えています。財政規模が大きな団体や事務局職員が増加している一方で、解散を余儀なくされることや、活動を休止しているところもあり、支援の必要性が指摘されています。

どのような活動や団体に
応募してほしいですか?

新潟をより幸せな社会へと変えていく可能性やアイデアを募っています。過去の実績ではなく、未来志向の観点から優れた取り組みを募集しています。

制度も踏まえ、今後の市民活動の
展望を教えてください。

NPOには、社会のニーズを先取りし、前例のない活動をいち早く起こしていくパワーがあります。こうした、市民がもつ「未来を拓く力」に光を当て、広く発信していきたいと考えています。



専属スタッフがいるNPO法人の皆さん、
これからNPO法人を立ち上げようと
検討している方にオススメ!

ながおか市民協働センターでは、昨年度好評だった、組織運営講座を今年度さらにパワーアップして行います。昨年に引き続き大阪ボランティア協会の水谷綾先生をお招きし、組織運営・ボランティアマネジメント・NPOと協働・NPOの決算について全4回講座で開催します。



第1弾 NPO組織運営セミナー ～いきいきと活動できる組織づくり～
7月26日(金) 13:30～16:00【会場】アオーレ長岡 西棟3F 第1協働ルーム

講師 市民活動が活発な大阪から、経験豊富な(社福)大阪ボランティア協会 事務局長 水谷 綾さん
的を得たアドバイスが好評の講師!

新潟県内のNPO法人は400を超えますが、その活動を知っている、応援しているという人は、ほんの一握りと感じます。そんな中で共感してもらうには趣旨や活動の内容を知ってもらうことが第一歩です。

ミッションやビジョンの考え方をわかりやすく学び、組織運営の基礎的な考え方やメン

バーが主体的に行う意思決定や合意形成の方法などを、講師水谷さんよりわかりやすく説明していただきます。スタッフがいきいきと活動するために、団体はミッションやビジョンを定期的に確認するとともに、メンバー間の思いを共有することが大切ですね。ぜひ気軽にご参加ください。



昨年度行った組織運営講座の様子